

# 船員保険における医療費等の状況について

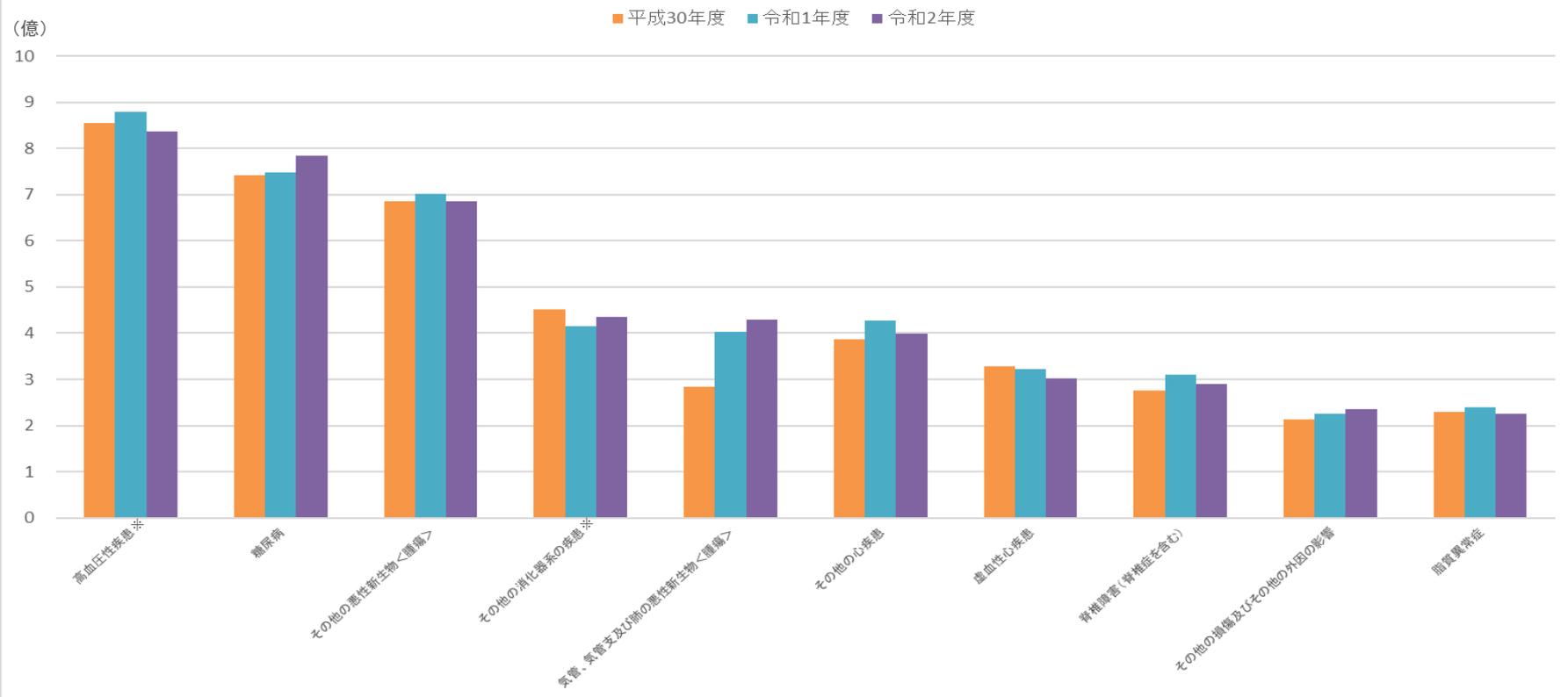
## (平成30年度～令和2年度)

**【船員保険における医療費等のポイント】**

- 高血圧性疾患や糖尿病といった生活習慣病関連の疾患が最上位となっており、生活習慣の改善が重要であることは共通課題であるといえる。  
(陸上勤務者と同様の傾向)
- その他の悪性新生物<腫瘍>が3番目に高くなっており、毎年の健診受診による早期発見、および早期治療が重要である。
- 「気管、気管支炎及び肺の悪性新生物」にかかる医療費が上位に入っており、船員の喫煙率が陸上勤務者に比べて高いこととの関係がうかがえる。
- 「気管、気管支炎及び肺の悪性新生物」については、平成30年度から令和2年度にかけて医療費が増大しており、被保険者や船舶所有者の喫煙や受動喫煙に対する意識の向上が必要である。
- 長期にわたる船内での生活や、荷役等の身体を使った労働等により外科系疾患を発症する可能性が高いと推測され、その結果「脊椎障害」や「その他の損傷及びその他の外因の影響」にかかる医療費が上位に入っていると推測される。

## 【船員保険被保険者（船員）】

令和2年度 船員保険【被保険者】 医療費TOP10（過去3年度の経年比較）



※船員保険被保険者のレセプトデータより総医療費を集計したもの

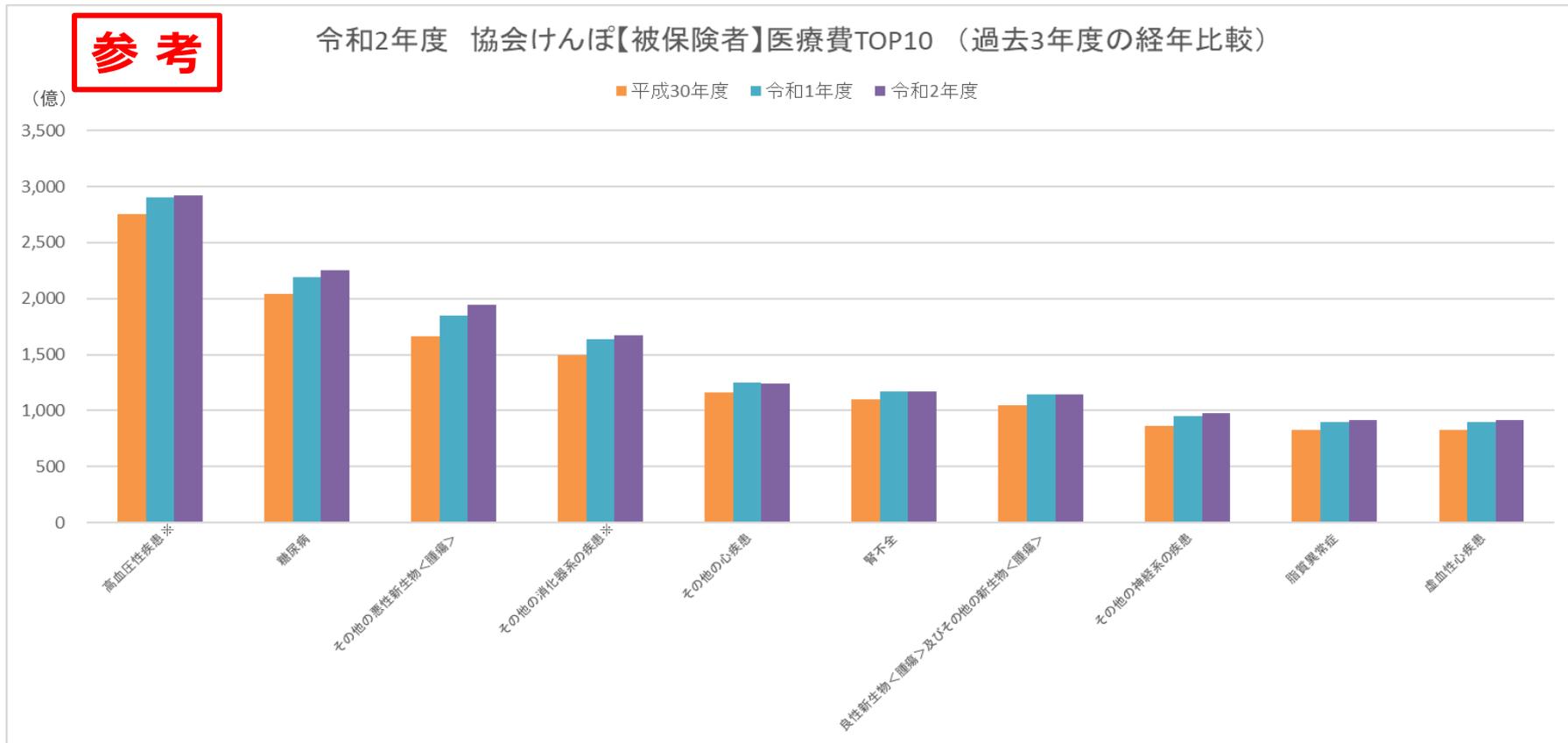
※社会保険診療報酬支払基金提供データにおけるレセプトの点数等については、いずれも「請求ベース」の数値である。

※高血圧性疾患の代表的な傷病名は「高血圧、高血圧性腎症、動脈硬化性腎硬化症、高血圧性心疾患」など

※その他の消化器系の疾患の代表的な傷病名は「食道炎、逆流性食道炎、アレルギー性胃腸炎、胃腸炎、大腸炎、胃腸潰瘍、鼠経ヘルニア、腹膜炎」など

- 生活習慣病に関連する疾病が、約半数を占める。（高血圧性疾患、糖尿病、虚血性心疾患、脂質異常症）
- 喫煙習慣と気管、気管支炎及び肺の悪性新生物の関連がうかがえる。
- 船員特有の労働環境により、脊椎障害を発症しているケースが多いと推測される。

## 【協会けんぽ被保険者（陸上勤務者）】



※協会けんぽHP掲載の「医療費基本情報」より総医療費を集計したもの

※社会保険診療報酬支払基金提供データにおけるレセプトの点数等については、いずれも「請求ベース」の数値である。

※高血圧性疾患の代表的な傷病名は「高血圧、高血圧性腎症、動脈硬化性腎硬化症、高血圧性心疾患」など

※その他の消化器系の疾患の代表的な傷病名は「食道炎、逆流性食道炎、アレルギー性胃腸炎、胃腸炎、大腸炎、胃腸潰瘍、鼠径ヘルニア、腹膜炎」など

- 生活習慣病に関連する疾病が、大半を占める。
- 船員と違い、上位10項目のすべてが内科系疾患となっている。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にかかる影響があった令和2年度においても、上位10項目の医療費はほとんどが上昇または横ばいの推移となっている。（必要な医療として享受されていたと推測される。）

**【集計の定義等について】**

- この資料で使用しているデータは、船員保険被保険者のレセプトデータを各年度毎に集計したものである。
- 令和2年度を基準とし、過去3年間の医療費を経年比較したものである。
- レセプトデータには、傷病名が不明のものが一定数あるが、不明分は集計から除外している。
- 社会保険診療報酬支払基金提供データにおけるレセプトの点数等については、いずれも「請求ベース」の数値である。
- 比較対象として、全国健康保険協会（協会けんぽ）の健康保険被保険者のレセプトデータを集計したものを併せて掲載する。
- 傷病名は、社会保険表章用疾病分類に記載されている疾病分類項目名を参照している。
- 複数の傷病が記載されているレセプトについては、レセプトの主傷病であることを表すフラグがある場合はそれらの傷病から、ない場合は記載されている全ての傷病からレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を参照している。